

空手道

- 1 主催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
- 2 後援 長崎県 (公財)長崎県体育協会 川棚町 川棚町教育委員会
長崎県空手道連盟
- 3 主管 長崎県高等学校体育連盟空手道競技専門部
- 4 期日 令和2年6月6日(土)・6月7日(日)
6日(土)個人形(男・女) 9時45分 個人組手(男・女)
7日(日)団体組手(男・女)9時15分 個人組手(男・女) 準決勝・決勝
- 5 会場 川棚町勤労者体育センター
- 6 参加資格 大会実施要領による。
- 7 参加申込 大会実施要領による。
- 8 競技方法 (1) 大会実施要領による。
(2) 団体組手・・・参加校数が5チーム以下の場合、リーグ方式とする。
参加校数が6チーム以上の場合、トーナメント方式とする。
(3) 個人組手・・・トーナメント方式とする。
個人形・・・得点方式とする。
なお、第一ラウンドは第一指定形、第二指定形(どちらでもよい)とし、第2ラウンド及び決勝ラウンドは得意形とする。各ラウンド毎に演武する形は変えること。
形は、JKF競技規定(2019年度版)から選択しなければならない。第一・第二指定形は「付録7:指定形リスト」より、得意形は「付録8:得意形リスト」から選択すること。
(4) 前年度県高等学校新人体育大会の団体組手4位、個人組手8人(九州新人大会出場選手)、個人形3位(4人)までシードする。なお、個人組手8人、個人形3位(4人)までのシード選手については、学校出場枠に含まないものとする。
- 9 参加制限 (1) 団体組手 選手7名(競技は5人制)
(2) 個人組手 選手4名+シード選手(ただし、1校における最大出場選手数は男女各8名)
(3) 個人形 選手2名+シード選手(ただし、1校における最大出場選手数は男女各4名)
(4) 各校ごとに、監督1名・コーチ1名とする。
(監督・コーチ等は、校長が認めた指導者とし、外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。)
(5) 外国人留学生について
団体 正選手の過半数を超えない範囲で出場を認める。
個人 参加制限はしない。
- 10 競技規則 採点方法 (1) 全日本空手道連盟審判規定並びに審判規定JKFルールに準じて行う。
運用については、全国高等学校空手道連盟競技規定並びに申し合わせ事項による。
(2) 採点方法は、勝率得点により順位を決定する。同点の場合は、決定戦を行う。
- 11 表彰 大会実施要領による。
- 12 抽選会 大会実施要領による。
- 13 監督会議 6月6日(土)8時20分 川棚町勤労者体育センター
- 14 その他 (1) 下記のとおり、男女共、全国高等学校総合体育大会および全九州高等学校体育大会への出場権を得る。

	団体組手	個人組手	個人形
全国大会	優勝校のみ 1チーム	2位まで 2名	2位まで 2名
全九州大会	2位まで 2チーム	5位まで 8名	3位まで 4名

- (2) 各校監督は審判にあたるため、審判員の服装(または、類似したもの)と笛を持参すること。
(3) 空手道衣および安全具については、全国高体連専門部の申し合わせ事項による。
(4) 空手道衣の左胸に入れる校名は、縦書で全体の大きさ7cm×15cm程度で、文字の色は黒またはスクールカラーとする。一文字の大きさは5cm～7cm程度とする。
(5) 背部に個人名・校名(25cm×20cmの白布に男子は黒・女子は赤)を明確に書き、縫い付ける。
(6) 選手は、ニューメンホーVI・VII、正拳サポーター、ボディプロテクター、シンガード、インステップガード
男子は更にセーフティカップを必ず準備すること。(マウスピースの使用は自由)
(7) 有段者は黒帯を着用すること。
(8) 過度の応援は避けること。(選手およびチームにペナルティを課す場合がある。)
フラッシュを使用しての写真撮影は禁止。
(9) 試合中、負傷のないように事前に十分指導すること。
(10) 試合中の負傷については各校責任をもって処置すること。
(11) 試合後の清掃に協力すること。